

くれしん 積立投資信託



投資信託とは… お客さまが投資された資金を運用の専門家である投資信託会社が「ファンド」としてひとまとめにして、複数の株式や債券、不動産投信などに投資し、その成果をお客さまの持ち分に応じて還元する仕組みの金融商品です。

積立投資信託の3つの特徴

- 1 毎月指定された日に投資信託を自動的に購入できます。**
毎月決まった日に自動的に投資信託を購入するため、毎月のご購入に際してのお手続きは不要です。
- 2 毎月一定額で定期的に投資信託を購入することができます。**
積立投資信託は預金口座からの振替により、無理なく毎月一定額を継続して購入できます。
- 3 ドル・コスト平均法を活用した時間分散の効果が期待できます。**
投資信託はいつがベストな投資タイミングなのか、結局のところ後になってみないとわかりません。`時間、つまり投資タイミングを分散する購入方法として一定の時期に一定の金額を継続して投資する積立投資信託があります。積立投資信託は基準価額が低い時には口数を多く、基準価額が高い時には口数を少なく購入することとなり、結果として一定の口数を一定期間ごとに投資する定量投資よりも平均購入単価を抑えることができます。

積立信託の投資方法

投資信託には様々なリスクがあります。そのリスクを抑える方法として一般的に次の3つが挙げられます。

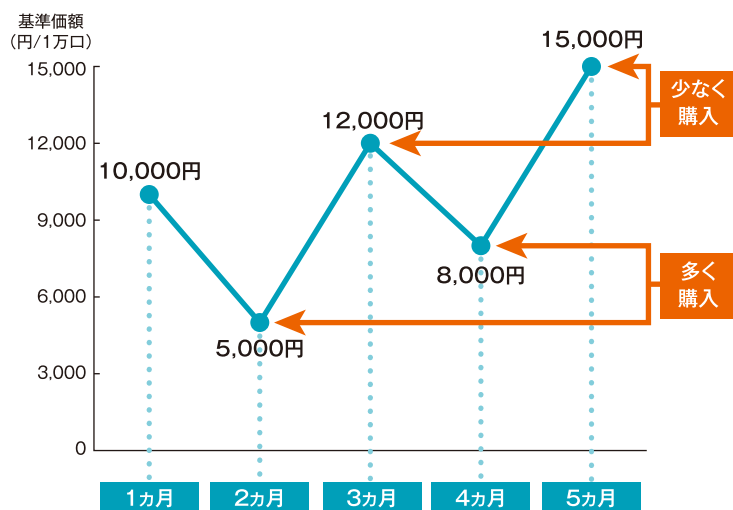


積立投資信託は「**時間分散**」の投資方法になります。

積立投資(ドルコスト平均法)とは?

ドルコスト平均法とは、価格が変動する商品に対して「常に一定金額を、定期的」に投資する方法です。投資金額を一定とすることで、「価格が低いときには購入量(口数)が多く、価格が高いときには購入量(口数)が少なく」なります。価格に関係なく常に一定口数で購入していくよりも、毎月の1万口あたりの平均投資額を平準化させる効果があります。

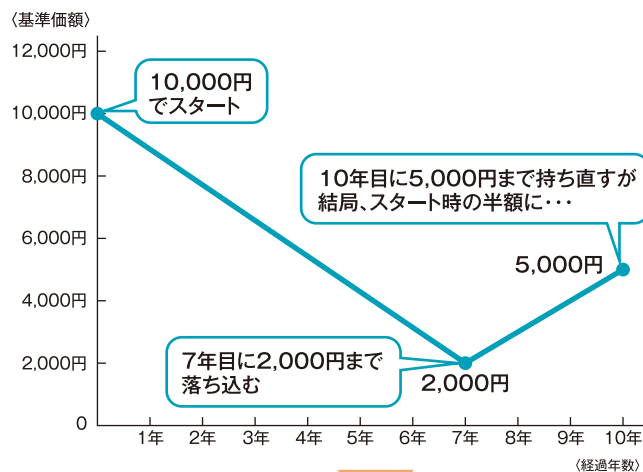
■ ドルコスト平均法の例①



1万口あたりの基準額▶	1ヵ月目	2ヵ月目	3ヵ月目	4ヵ月目	5ヵ月目	合計	1万口あたりの平均投資額
毎月3万円ずつ購入した場合	投資金額▶ 30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	150,000円	約8,696円
	投資口数▶ 3万口	6万口	2.5万口	3.75万口	2万口	17.25万口	
毎月3万円ずつ購入した場合	投資金額▶ 30,000円	15,000円	36,000円	34,000円	45,000円	150,000円	10,000円
	投資口数▶ 3万口	3万口	3万口	3万口	3万口	15万口	

5ヵ月の差額約1,304円

■ ドルコスト平均法の例②



1万円でスタートした基準価格が下がり続け、7年後に2,000円落ち込み、その3年後の10年目に5,000円になりました。1万円/月の積立投資を10年間とすると、**投資金額120万円は約140万円**となります。

